

(様式3)

自己評価及び外部評価結果

作成日 平成24年7月23日

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	0892600016		
法人名	社会福祉法人 豊潤会		
事業所名	ゆたかな郷	ユニット名	1ユニット
所在地	〒319-2103 茨城県那珂市中里1184-1		
自己評価作成日	平成24年1月9日	評価結果 市町村受理日	平成24年7月17日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報 リンク先URL	http://www.kaigokouhyou.jp/kaigosip/infomationPublic.do?JCD=0892600016&SCD=320&PCD=08
-----------------	---

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社会福祉法人茨城県社会福祉協議会		
所在地	〒310-8586 水戸市千波町1918番地 茨城県総合福祉会館内		
訪問調査日	平成24年2月7日	評価確定日	平成24年7月2日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

<ul style="list-style-type: none">・ 小規模多機能型居宅介護と併設されているため、通いの方やショートの方など多くの方と関わりを持ちながら楽しく生活することが出来ます。・ 在宅からグループホームへ入居となり急激な環境の変化で混乱することがないように、入居前より併設する小規模多機能型居宅介護の通所・宿泊・訪問のサービスを利用して頂くことにより、利用者同士や職員とのなじみの関係ができ環境の変化に混乱することが少なくグループホームへの入居が可能となっています。・ 平成22年9月～くもん学習療法を取り入れ、「読み書き」や「計算」を用いた学習を行う事で高齢者の認知症予防や認知症状の改善につながるよう支援しています。
--

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

<p>小規模多機能型居宅介護事業所と併設しており、扉を開けていつでも往来ができ、通いや泊まりの利用者と係わりを持ちながら楽しく生活ができるよう支援している。</p> <p>くもん学習療法を取り入れ、読み書きや計算を用いた学習で利用者の認知症状の改善につなげている。</p> <p>利用者は職員と散歩をしたり敷地隣の池に飛来する白鳥を見に出かけている。</p> <p>年間行事計画を作成し公用車で買い物や葡萄狩り、秋の遠足、外食など様々な場所に出かけられるよう支援し、利用者の楽しみとなっている。</p> <p>利用者の居室に担当職員の名前と写真が掲示されていたり、居間兼食堂には温度計が設置してあり、職員は明るい雰囲気づくりを心がけながらきめ細やかなサービス提供に取り組み、利用者が心穏やかに暮らせるよう支援している。</p>

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	暮らし・健康・自立支援・介護計画・家族・地域・専門職の7つの項目に沿って、現在取り組んでいます。法人の考え：「心を見つめ、身体を見つめ、行為を見つめることから私達の仕事は始まる。」を基に実施しています。	地域密着型サービスの意義を踏まえた理念を管理者や職員で話し合い作成している。 職員は相談室や居間、トイレに掲げてある理念に目を通すとともに、ミーティング時に理念を再確認し共有しながら実践に努めている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地区の清掃活動日に自主的に参加し、近隣のゴミ拾い活動を毎月行い近所の方と挨拶を交わしています。	傾聴や舞踊、民謡、個人でのサックス演奏などのボランティアを受け入れているほか、保育園児がクリスマス会に来訪し遊戯を披露してくれるなど、利用者が地域の人々と交流ができるよう支援している。 職員は定期的に行われる地域の清掃活動に参加し、地域の一員として交流している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	運営推進会議に参加していただいている地域の方々に、くもん学習療法（H22.9～）での取り組みや経過を報告し、認知症ケアの方法の一つとして伝えているが、現在は特定の方のみである。		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2か月に1回（7月～開催）、運営推進会議を開催し、利用者やその家族、地域や関連機関の方々をメンバーに招き、事業所での取り組み・利用状況等を報告したり議題を問いつけたりしています。	運営推進会議は市職員や地域包括支援センター職員、民生委員などで2ヶ月に1回開催し、会議録を作成している。 会議では利用状況や行事活動報告をするほか、委員と活発な意見交換をしている。 委員から、「近隣の神社の祭事や地区の草刈りに参加をしてはどうか」との意見があり、実行している。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	市担当者が運営推進会議のメンバーに入っており、2か月に一度利用状況や取組みについて伝えながら協力を得ています。	市担当者が運営推進会議に定期的に出席しているほか、職員は電話などで困難事例を相談している。 職員は市担当者や他事業所が参加する市主催のネットワーク会議に出席するなど市担当者と密に連絡を取り合い、協力関係を築いている。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	スタッフ会議等で、身体拘束排除のための勉強会を実施し取り組んでいます。	身体拘束廃止に向けたマニュアルを作成するとともに、職員はスタッフ会議などで禁止の対象となる具体的な身体拘束の行為と弊害を理解している。 玄関や居室は施錠せず、職員の見守りで身体拘束をしないケアに取り組んでいる。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	県や市町村が主催する虐待防止の研修や、加入する地域密着型介護サービス協議会の虐待防止に関する研修に職員を参加させています。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	茨城県社会福祉士会が主催する地域福祉権利擁護事業や経年後見制度についての勉強会に参加しています。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	サービスを利用するに当たっての十分な説明と同時に、その時点で利用者・ご家族が抱えている不安等を伺い、事業所が提供できるサービスの範囲を御家族に伝え、納得して頂いた上で契約を行っています。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	毎月1回生活懇談会を開催し、利用者に意見・不満が言える機会を設け運営に反映させています。家族交流会の中では、意見・不満・苦情を述べる機会を作っていますが、直接言い難いこともあり意見箱も作成しています。	月1回利用者主催の生活懇談会を開催し、意見や要望を聴く機会を設けるとともに、年1回家族交流会を実施し、出た意見等を運営に反映させている。 利用者から出た「観梅に行きたい」との意見や家族等から出た「職員と話し合う時間を設けて欲しい」との要望を受け改善している。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	月に1回のスタッフ会議の中で、意見や提案を聞く機会を設けていますが、直接的な意見や提案を聞く事が多くサービス運営に反映させています。	管理者は月1回スタッフ会議を開催するとともに、気軽に意見や提案を出せるよう雰囲気づくりに努めている。 職員からの意見や要望を受けて勤務体制を改善したり、利用者の衣類が紛失しないようネットを使用するなど、職員の意見等を反映させている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	功労者表彰・永年勤続者表彰制度があり実績により表彰しています。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	管理者が自ら必要とする研修を選択して受講し、管理者は職員が必要とする研修を必要に応じて選択し受講させるようにしています。職員として必要な知識・技術を法人内の年間計画に沿って勉強会を開催し参加しています。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	くもん学習療法（H22.9～）をはじめにあたり、すでに取り組んでいる施設を見学して、職員の方から情報を得るなど刺激を受ける機会もとっている。他県からの施設見学を受け入れ、質疑応答や情報交換を行う場も設けている。		
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	サービスを利用する前の面会時に、現在困っている事や希望などを本人から伺いながら関係を築けるようにしている。何気ない会話から、普段口に出せないような悩みや不安を把握することもあるので、親身になっての傾聴を心掛けています。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	今後、どういったサービスを提供していくのかという相談の中で、家族がサービスを利用を希望するに至った経緯等を伺いながら、不安や負担の軽減を図れるよう対応を行っています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	事前面接で、グループホームと併設する小規模多機能型居宅介護の説明をし、今必要としているニーズがどちらであるか、又、法人で提供できるサービスであるかも含め説明をしています。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	特別な取り組みはしていませんが、普段の生活において利用者から経験豊富な知識や技術を学ばせて頂くことが多く、意見を尊重し傾聴するよう心掛けています。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	職員と家族との交流がなかなか取れない事もあり、小規模と合同で、「家族交流会」を企画して開催しています。交流会の中で職員と家族が料理を一緒に作ったり、御家族からの利用についての意見を伺ったりしています。職員の中から利用者担当を決めるなど、家族との関係を強化しています。		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	今現在、馴染みの人へ逢いに出かける事はあまり出来ていない状況ですが、施設へ近所の友人や知人が面会に来ていたり、一緒に食事に出かけたり外出して頂いたりしています。	職員は利用者の友人や親族などの来訪時には、気軽に利用者の居室で話ができるようお茶などを出して支援している。職員は利用者の要望に応じて公用車で墓参りに付き添ったり、馴染みの理・美容師に来訪してもらうよう連絡調整をするなど、これまでの人や場所との関係が途切れないよう支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	食事やお茶の時間に親しい利用者同士を隣の席にしたり、自由にお互いの部屋に遊びに行ったりと、交流している関係を大切にしています。新規や孤立しがちな利用者には、職員が間に入り関わるきっかけが持てるよう心掛けています。		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	現在の状況としては、サービス利用が終了した場合、次の事業者等に引き継いでいるケースが多いが、長期入院で再びサービスを利用したいという御家族の要望には、再利用できるよう配慮し対応しています。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	ご本人からの要望があれば、その都度話を聞き、出来る限り意向に沿った暮らしができるよう努めています。困難な場合には、御家族からどういった暮らしをしていたのか昔の話を伺うなどして把握に努めています。	職員は利用者の基本情報から生活歴を把握するとともに、日々の係わりの中で利用者の行動や表情、しぐさを観察しながら意向の把握に努めている。 利用者一人ひとりに担当職員がおり、その都度希望や意向を聞き利用者の意向にそった支援ができるよう努めている。 意志疎通が困難な利用者の場合は家族等の来訪時に話を聴き、職員で話し合い利用者本位に検討している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	各利用者に担当職員を決め、その職員を中心に情報収集を行っています。その情報をきちんとまとめ、他のスタッフにも共有出来るようにしています。また、以前利用していた事業所があれば、そこから情報収集を行ったり家族に伺ったりしています。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	時間帯により気分や感情の起伏が激しい利用者様もいるため、一人一人の生活リズムを把握するためにも一日の様子を記録し、その人らしい暮らしが出来るよう職員全体で支援しています。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	担当職員を中心に、本人や家族から希望や意向を聞き介護計画を作成しています。よりよいプランにする為に、相談員・GHリーダーを含めてカンファレンスを行い、チーム全体での介護計画作成を心掛けている。	介護計画は利用者や家族等から希望や意向を聴き、担当職員やチームリーダー、事業所の相談員などで話し合い作成している。 モニタリング表を作成し3ヶ月毎に介護計画の見直しをしているが、モニタリングの評価が介護計画に反映されず、現状に即した介護計画に見直すまでには至っていない。 介護計画書に家族等の名前や日付の記入漏れが見られる。	モニタリング表を活用し利用者の現状に即した介護計画を作成することを期待する。 介護計画は家族等に確認のうえ名前や日付を記入することが望まれる

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	昼夜における利用者様の言動や変化は細かく記録に記入し、全ての職員の間で情報を共有しケアを行っています。場合により、職員同士その場でケース検討を行ったり介護計画に取り入れたりと統一したケアに反映しています。		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	事業所の多機能化については、小規模多機能型居宅介護を併設しているため、GHにおける空室を利用してのショートステイや通所等の利用体験という形で、多機能化として実施して取り組んでいます。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	行事等で社協のボランティアに来てもらって催し物をして頂いたり、市の主催するも催しを聞きに行ったりして楽しむ機会を作っています。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	御家族に相談をし、納得や了解が得られた場合、ご本人の病状や健康状態を考慮してかかりつけ医への受信支援を実施し、関係を築いている。その他、希望に沿いながらご本人の心身状況にあった専門医を紹介するなどしています。	利用者や家族等が希望するかかりつけ医は基本的には職員が受診支援をするとともに、利用者の病状に応じた専門医を紹介して受診を支援している。 併設している小規模多機能型居宅介護事業所の看護職員が利用者の見守りをしたり夜勤の担当職員にアドバイスをするなど、利用者の病状の変化に早めに対応できるよう支援している。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	体調の変化等が利用者にもみられた場合など、常日頃から関わっている施設の看護職員に相談し、対応の指示を仰いだりして利用者様の健康管理を十分に協働しながら支援しています。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	早期退院に向けて、再び施設に戻り生活できるよう、病院のソーシャルワーカーとの情報交換や相談を行っている。又、面会されている御家族から利用者様の状況を伺い退院に向けての話し合いも行っています。		
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	施設側から積極的に聴く事はしていないが、利用者の体調変化や入院退院の際に、家族からの相談に応じたり話し合いを持っている。重度化した場合には、同法人の特養への入所も検討出来る事を御家族に説明しているため、現在施設でのターミナルケアの取り組みは行っていない。	重度化した場合は利用者や家族等の意向を踏まえ、できる限り事業所で支援する方針だが、困難となった場合は病院や同一法人の介護福祉施設を紹介している。 重度化や終末期のあり方について、事業所や医療関係者と話し合ったり、書類の整備をするまでには至っていない。	利用者や家族等のニーズを汲み取りながら、今後看取りの対応にどう取り組むのかを運営母体や管理者、職員で検討するとともに、書類の整備を期待する。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	年間計画にそって緊急時の対応、感染対策、応急手当等の勉強会を実施しています。又、外部研修においても随時学べるよう、職員に参加させています。AEDに関しては、新人職員を中心に全員が施設での講習を実施しています。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	平成23年度は避難訓練を9回実施。 (1月時点) ・地震想定避難訓練：2回 ・夜間建物火災想定：6回 ・夜間建物火災想定(消防署立会)：1回 ・炊き出し訓練：1回 ※重複あり	消防署指導の避難訓練を実施しているほか、事業所独自に地震や夜間の火災を想定した避難訓練や炊き出しの訓練などを毎月実施するとともに、職員は通報や消火器の使い方を訓練しているが、避難訓練に近隣住民の参加を得るまでには至っていない。 訓練後に反省会を行い問題点を話し合っ改善に努めるとともに、記録に残している。 災害時に備えて食糧や飲料水を備蓄している。	火災や地震等の災害時に備えて、運営推進会議などで地域住民に避難訓練への参加を働きかけることを期待する。

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	日々の関わりの中において一人ひとりの個性を大切にし、尊重したうえでの言葉かけと対応を行っています。	職員は利用者の基本情報から生活歴を把握し、一人ひとりの人格を尊重した言葉かけや対応に努めている。 浴室やトイレにはカーテンが設置しており、必ずカーテンを閉めるなどでプライバシーに配慮している。 個人情報に関する書類は事務所に保管している。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	旅行やレク、買い物外出等、行事への参加や日々の入浴などは一方的に決めることはせず、本人に決めて頂くよう心掛けています。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	日々の暮らし方は、食事、お茶の時間は生活の流れとして決めていますが、それ以外のレクや行事は不活発にならないようにしながら本人のペースで参加・見学して頂き本人のペースを大切にしています。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	身だしなみとして、理容に関しては近所の美容院に出張してもらいカット・カラー・パーマが出来るようにし、希望の髪型になるようお願いしています。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事を楽しみにしている方が多く、時に利用者様に味付けや皮むき、盛り付け等を手伝って頂いています。昔馴染みの料理や季節のおやつ作りなどは、利用者様の知恵を活かしながら一緒に行っています。	職員は利用者と同じ食卓を囲み、食事が楽しめるよう食事介助や声かけをしながら一緒に食事をしている。 利用者は職員と一緒に食事の準備や下膳、後片付けなどを行っている。 食事が楽しみなものになるよう、利用者の嗜好に合わせた代替食や追加食を用意するとともに、雛祭りやクリスマス会、お正月、敬老会、誕生会など様々な行事食を用意している。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	記録表を作成し、一日の食事摂取量を記入している。カロリーや塩分制限がある方には、ごはんを100gにしたり味噌汁の回数を減らすなどして必要なエネルギーを摂取できるようにしています。水分摂取は、必要な方だけ記録しています。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後の歯磨きの声かけ、誘導、介助を実施しています。必要に応じて訪問の歯科医師による治療と指導を受けています。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	認知症があり、尿意や便意があるが訴えることができない方の排泄パターンやそわそわしているサインを見つけ誘導しています。時々タイミングが合わず失敗してしまう事があります。	職員は排泄チェック表を活用し利用者一人ひとりの排泄パターンを把握するとともに、利用者のサインを見逃さないよう見守り、トイレで排泄ができるよう支援している。 夜間は紙おむつ使用の利用者にも声かけをしてトイレ誘導したり、居室にポータブルトイレを置くなどで、排泄の自立に向けた支援をしている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	水分は最低でも一日1000ccを摂取していただいています。便秘が心配な方には、利用者様の好みに合わせて乳製品や乳酸菌飲料などを積極的に飲んで頂き排便を促しています。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	入浴日は曜日で決まっていますが、時間帯は本人の希望に合わせて入浴できるよう声かけしています。入浴時間は長湯にならない範囲で本人のペースに合わせ、入浴剤を入れて乾燥肌対策や香りを楽しみながら入浴して頂いています。	入浴は基本的には週2回から3回で、利用者の希望にそった時間帯に入浴ができるよう支援している。 利用者が外出から帰った際にも入浴支援をするとともに、入浴剤や柚子を入れて香りを楽しめるよう支援している。 利用者の心情に配慮し、女性利用者には同性職員が入浴介助をしている。	
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	日中の休息は個人差があり本人の体力や年齢に合わせて昼食後に休息して頂いています。 就寝は、だいたいPM7時からPM9時の間には居室に入室し、就寝していただけるよう習慣づけしています。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	薬局からの薬情を一冊のファイルにし、一人ひとりの服薬内容を確認チェックするようにしています。薬の変更追加があれば同様にしています。症状の経過については、ミーティング時に経過報告し、次の病院受診時Drに報告しています。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	月～金曜日にかけて、くもん学習療法を行っています。認知症の予防・改善だけが目的ではなく、日々の日課の一つとして取り組んでいただいています。食後の食器拭きや、裁縫の仕事をしていただ方には利用者さまの衣服のほつれを縫っていただきます。		

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	天気の良い日や季節に合わせて散歩に出掛けている。冬は敷地隣の池に白鳥が飛来するので見に出かけた。春は桜の花が敷地周囲に咲くなど環境が良いところなので時間を見つけて出掛けています。寒い時期以外は、近所のスーパーに月1回買い物外出に出掛けています。	利用者の体調に応じて天気の良い日は散歩コースや敷地隣の池に飛来する白鳥を見物に出かけている。 年間行事計画を作成し、公用車で買い物や梨狩り、葡萄狩り、菊祭り、外食、秋の遠足でアクアワールド大洗水族館など、様々な場所へ外出ができるよう支援している。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	買い物外出の際や遠足時にお土産を購入したいといった場合に、可能な方にはお預かりしているお金をお渡しし、レジでの支払いが出来るように支援している。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	ご家族への電話は、本人の要望に応じて電話をし、話ができるように支援しています。手紙については、本人に代わってポストへ投函しやり取りができるよう支援しています。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	誰もが居心地良く過ごせるよう、行事ごとのレク作品を飾ったり、共有の空間の清潔間を保てるよう心掛けています。	広くて明るい居間兼食堂には、外の風景を眺めながら季節の移り変わりが感じられるよう大きな窓を設置しており、利用者の五感の刺激に役立っている。 居間兼食堂の一角に設置された小上がりの和室にはテレビや座卓などが置いてあり、利用者がお茶を飲んだり、横になってゆったり過ごせるよう工夫している。 廊下やトイレ、浴室は清潔に保たれ、利用者の安全に配慮して手すりが設置されている。	

☆この評価は、受審事業所が自主的なサービス改善を行う努力を支援するための評価であり、調査当日の事業所の状況や提出された書類に基づいて評価したものです。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	食堂や談話室（相談室）は南側に面していて日当たりが良いので、時々窓際に座り日向ぼっこをしながら居眠りをしている方もいます。全室個室なので、居室で一人自由に過ごされたり気の合う仲間同士で居室同士を行き来されています。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	必要であればご自宅から馴染みの物を持ち込んで飾ったり使ったりしてもいいように説明しています。自宅で使用していた家具や自室でくつろげるようにテレビを持ち込まれ、ご本人の居心地のいい空間にしている方もいます。	利用者は家族等と相談しながらテレビやラジオ、椅子、テーブル、タンス、利用者の作品、写真などを持ち込んで利用者好みの居室づくりをしており、これまでと同じ生活ができるように工夫をしている。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	木造の建物で家庭に近い造りになっていて、車イス対応でバリアフリーになっています。自立支援を目指し「見守り・寄り添う」ことしか出来ませんが、生活機能を低下させないよう努めています。		

V アウトカム項目		
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての利用者の <input type="checkbox"/> 2, 利用者の2/3くらいの <input type="checkbox"/> 3, 利用者の1/3くらいの <input type="checkbox"/> 4, ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	<input type="checkbox"/> 1, 毎日ある <input type="checkbox"/> 2, 数日に1回程度ある <input type="checkbox"/> 3, たまにある <input type="checkbox"/> 4, ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="checkbox"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="checkbox"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="checkbox"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="checkbox"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input type="checkbox"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての家族と <input type="checkbox"/> 2, 家族の2/3くらいと <input type="checkbox"/> 3, 家族の1/3くらいと <input type="checkbox"/> 4, ほとんどできていない

64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ毎日のように <input type="checkbox"/> 2, 数日に1回程度ある <input checked="" type="checkbox"/> 3, たまに <input type="checkbox"/> 4, ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの広がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	<input checked="" type="checkbox"/> 1, 大いに増えている <input type="checkbox"/> 2, 少しずつ増えている <input type="checkbox"/> 3, あまり増えていない <input type="checkbox"/> 4, 全くいない
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての職員が <input type="checkbox"/> 2, 職員の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 職員の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての利用者が <input checked="" type="checkbox"/> 2, 利用者の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 利用者の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	<input type="checkbox"/> 1, ほぼ全ての家族等が <input checked="" type="checkbox"/> 2, 家族等の2/3くらいが <input type="checkbox"/> 3, 家族等の1/3くらいが <input type="checkbox"/> 4, ほとんどいない

(様式4)

目 標 達 成 計 画

事業所名 ゆたかな郷

作成日 平成24年7月16日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	12	重度化や終末期のあり方について、事業所や医療関係者と話し合ったり、書類の整備をするまでには至っていない。	施設での重度化や終末期についての取り決めに明確にするため、検討項目を書式化する。	関係方面や重度化・終末期に取り組んでいる施設の情報を参考に、運営推進会議メンバーや家族の代表を交えて検討しながら作成する。	6ヶ月
2	10	モニタリングの評価が介護計画に反映されず、現状に即した介護計画に見直すまでは至らない。計画書への家族等の名前や日付の記入漏れがある。	利用者の現状に即した介護計画を作成し、書類への記載漏れを防ぐ。	1ヶ月ごとに評価した実践状況(ケアチェック)を反映させたモニタリング、カンファレンスの実施。	3ヶ月
3					
4					
5					

注1) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。

注2) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。